

## 第36回 IHE ワークショップ in 名古屋

開催日時：2012年6月30日（土） 13:00～17:15（予定）

開催場所：エーザイ株式会社名古屋コミュニケーションオフィス6階ホール

<http://www.aart.or.jp/pdfdata/aart09/eizaimap.pdf>

主催：日本 IHE 協会 普及推進委員会

共催：JSRT 中部部会医療情報システム研究会

後援：日本放射線技術学会 医療情報分科会、

参加費：5000円

事前参加登録：登録サイト <http://www.e-rad.jp/xoops/modules/eguide/event.php?eid=65>

●参加する方は、必ず参加登録をお願いします。

●医療情報技師更新ポイント：3ポイント

### 【プログラム】

開会の挨拶 (IHE 協会 理事) 奥田 保男

I 部 【IHE の基礎】 13時05分～ 司会 坂本 博

1. なぜ I H E 活動がはじまったか (25分)

放射線医学総合研究所 (普及推進委員) 奥田 保男

2. ユーザが、最低限知っておくべき I H E の知識 (25分)

放射線医学総合研究所 (普及推進委員) 奥田 保男

3. テクニカルフレームワークの作成とコネクタソン (25分)

東北大学病院 (普及推進委員) 坂本 博

II 部 【IHE の利用と期待】 14時30分～ 司会 奥田 保男

4. 放射線領域の IHE (20分)

静岡県立総合病院 (普及推進委員) 法橋 一生

5. CD による医療情報連携のキーポイント (20分)

東北大学病院 (普及推進委員) 坂本 博

6. IHE で便利になる循環器情報管理 (20分)

静岡県立総合病院 (普及推進委員) 法橋 一生

7. 病棟、ICU、救急、手術室の医療機器を IHE でつなぐ PCD (20分)

岡崎市民病院 中元 雅江

III 部 【IHE の導入】 16時00分～ 司会 法橋 一生

8. I H E を用いて情報システムを導入した経験 1 (30分)

豊橋市民病院 原瀬 正敏

9. I H E を用いて情報システムを導入した経験 2 (30分)

東北大学病院 (普及推進委員) 坂本 博

閉会の挨拶

東北大学病院 (普及推進委員) 坂本 博